

# 12月補正事業計画書

令和4年度 [ 経済 局]

事業名

5款 1項 4目  
信用保証料助成事業（中小企業融資事業）

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	147,727,579	4,100,864			143,024,924		601,791
執行見込額	148,184,476	4,100,864			143,024,924		1,058,688
今回補正額	456,897	0	0	0	0	0	456,897

## 【事業概要】

新型コロナウイルス感染症の影響や国際情勢の変化など、市内中小企業を取り巻く経営環境の先行きが依然不透明となっている中、中小企業の資金繰りを支援するために、横浜市中小企業融資制度を実施するとともに、借入時の負担軽減を図るため一部資金について、信用保証料助成を行うことにより、中小企業の事業資金調達の円滑化を図ります。

また、横浜市中小企業融資制度「台風第15号対策特別資金」や「横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金」等に係る利子を補助し、中小企業の事業継続及び経営の安定化を図ります。

## 【補正概要】

### ■事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油や原材料など物価高騰等の影響を受ける市内中小企業の資金繰りを支援するため、令和4年6月8日から「新型コロナウイルス 伴走支援特別資金」(※)の信用保証料の全額助成を行いました(9月26日保証協会受付分まで)。当初の想定を大幅に上回る利用があったため、必要な事業費を増額補正し、助成を再開するとともに、新型コロナウイルス関連資金等からの借換需要等に対応する新たな助成を行い、中小企業の資金繰りを支援します。

### ※「新型コロナウイルス 伴走支援特別資金」

実質無利子融資の終了後、国が創設した制度。金融機関が中小企業者に継続的な伴走支援をすること等を条件に、信用保証料の一部について国の補助を受けられる。

### ■助成の概要(拡充分)

対象者：新型コロナや物価高騰等の影響を受ける事業者への資金繰り支援として国が実施する全国統一保証制度を利用する中小企業・小規模企業  
補助率：国の補助後の事業者負担分の1/2(セーフティネット保証利用)または1/10(一般保証利用)

#### ・信用保証料算出式

$$\text{保証料} = \frac{\text{貸付金額} \times \text{据置期間} \times \text{保証料率}}{12\text{か月}} + \frac{\text{貸付金額} \times (\text{保証期間} - \text{据置期間}) \times \text{保証料率} \times \text{分割係数}}{12\text{か月}}$$

### ■開始時期

令和5年1月4日

## 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説明
中小企業制度融資事業	142,843,000	0	142,843,000	
信用保証料助成事業	536,411	456,897	993,308	新型コロナウイルス関連資金等からの借換対応等に係る信用保証料助成の増
信用保証促進事業	129,945	0	129,945	
中小企業災害対策特別資金利子補給事業	113,725	0	113,725	
新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給補助金事業	4,100,864	0	4,100,864	
金融事務費	3,634	0	3,634	
合計	147,727,579	456,897	148,184,476	

## 【事業スケジュール】

融資実行・・・随時 保証料助成交付申請 1～3月分：3月

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

# 12月補正事業計画書

令和4年度 [ 経済 局]

事業名		
1 款	1 項	1 目
仲卸業者等電気料高騰支援事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	0						0
執行見込額	21,810						21,810
今回補正額	21,810	0	0	0	0	0	21,810

## 【事業概要】

長期化するコロナ禍での影響や昨今の原油や電気料などの高騰による、横浜市内の食料品への価格転嫁を最小限に抑え、仲卸業者等の事業継続を支援するため、事業に用いた電気料金の一部を補助します。  
助成にあたっては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を想定しています。

## 【補正概要】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を踏まえ、通知の要件に該当する中央卸売市場本場内の卸事業者、仲卸事業者、関連事業者及び横浜南部市場管理協会の会員で青果棟・水産棟を賃借して業務を営む事業者に対し、令和4年4月使用分から9月使用分の電気料金と前年同時期の電気料金との差額の2分の1を補助します。補助する上限金額は50万円とします。

### ◆実施概要

- 対象事業者：下記要件のすべてに該当する中央卸売市場本場の卸事業者、仲卸事業者、関連事業者及び横浜南部市場管理協会の会員で青果棟・水産棟を賃借して業務を営む事業者
  - ①交付申請時点で、市場で開業して12か月を経過していること
  - ②市場使用料、施設使用料、本場収入及び延滞金等の滞納がないこと
  - ③令和4年4月使用分から9月使用分の電気料金が前年同時期の電気料金を上回っていること
- 対象事業所数：約180事業所
- 補助額：令和4年4月から9月までの電気料金と前年同時期の電気料金との差額の2分の1を乗じた額  
(上限50万円、千円未満の端数は切捨て)
- 実施時期：令和4年12月から5年2月まで

## 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説明
①電気料高騰支援事業	0	21,810	21,810	中央卸売市場本場及び南部市場の場内事業者の電気料金の一部について補助
合 計	0	21,810	21,810	

## 【事業スケジュール】

### 助成金支給

4年度		
1 2月	1 月	2 月
受付開始	支給開始	支給終了

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。



# 12 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 経 済 局 ]

事 業 名
1 款 1 項 1 目
光熱水費その他管理費（光熱水費）

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	使用料及び手数料	その他	市債	一般財源
現計予算額*	537,162			195,324	193,394		148,444
執行見込額	711,781			195,324	331,482		184,975
今回補正額	174,619	0	0	0	138,088	0	36,531

**【事業概要】**

市場施設運営に必要な電気・水・ガスの調達及び施設の維持管理を行い、市場の効率的運用を図る。

**【補正概要】**

横浜市中心卸売市場食肉市場の光熱水費について、物価上昇に伴う経過措置として歳出予算を補正します。

◆補正要求概要

- ・対象施設 横浜市中央卸売市場食肉市場  
令和4年4月1日～令和5年3月31日までの電気料金及びガス料金
- ・電気料金：当初予算 ¥145,000,000 使用量6,800,000kwh×単価21.32  
執行予定額 ¥270,407,000 使用量■■■■■kwh×単価■■■■■(平均)  
補正額 ¥125,407,000  
原料価格高騰分及び9月以降の最終保障供給の料金改定額を加算
- ・水道料金  
上下水道：当初予算 ¥256,984,000 使用量255,134m<sup>3</sup>  
執行予定額 ¥288,481,000 使用量286,602m<sup>3</sup>  
補正額 ¥31,497,000  
使用量の増による増額  
工業用水：当初予算 ¥74,074,000 使用量136,476m<sup>3</sup>  
執行予定額 ¥74,906,000 使用量137,966m<sup>3</sup>  
補正額 ¥832,000  
使用量の増による増額
- ・ガス料金：当初予算 ¥40,447,000 使用量530,435m<sup>3</sup>×単価 76.25  
執行予定額 ¥57,330,000 使用量488,025m<sup>3</sup>×単価110.80(平均)  
補正額 ¥16,883,000  
原料価格高騰分を加算

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①光熱水費	516,505	174,619	691,124	物価上昇に伴う電気・ガス料金及びと畜頭数増加による水道使用量の増
②その他管理費	20,657	0	20,657	
			0	
合 計	537,162	174,619	711,781	

**【事業スケジュール】**

通年事業

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

# 12月補正事業計画書

令和4年度 [ 経済 局]

事業名
17款 1項 5目
中央卸売市場費会計繰出金

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	190,038						190,038
執行見込額	211,848						211,848
今回補正額	21,810	0	0	0	0	0	21,810

## 【事業概要】

長期化するコロナ禍での影響や昨今の原油や電気料などの高騰による、横浜市内の食料品への価格転嫁を最小限に抑え、仲卸業者等の事業継続を支援するため、事業に用いた電気料金の一部を補助します。  
助成にあたっては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用を想定しています。

## 【補正概要】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を踏まえ、通知の要件に該当する中央卸売市場本場内の卸売業者、仲卸業者、関連事業者及び横浜南部市場管理協会の会員で青果棟・水産棟を賃借して業務を営む事業者に対し、令和4年4月使用分から9月使用分の電気料金と前年同時期の電気料金との差額の2分の1を補助します。  
補助する上限金額は50万円とします。

### ◆実施概要

- 対象事業者：下記要件のすべてに該当する中央卸売市場本場の卸売業者、仲卸業者、関連事業者及び横浜南部市場管理協会の会員で青果棟・水産棟を賃借して業務を営む事業者
  - ①交付申請時点で、市場で開業して12か月を経過していること
  - ②市場使用料、施設使用料、本場収入及び延滞金等の滞納がないこと
  - ③令和4年4月使用分から9月使用分の電気料金が前年同時期の電気料金を上回っていること
- 対象事業者数：約180事業者
- 補助額：令和4年4月から9月までの電気料金と前年同時期の電気料金との差額の2分の1を乗じた額  
(上限50万円、千円未満の端数は切捨て)
- 実施時期：令和4年12月から5年2月まで

## 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説明
①中央卸売市場費会計繰出金	190,038	21,810	211,848	中央卸売市場本場及び南部市場の場内事業者の電気料金の一部について補助
		0	0	
合計	190,038	21,810	211,848	

## 【事業スケジュール】

助成金支給

4年度		
12月	1月	2月
受付開始	支給開始	支給終了

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

# 12 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 経済 局]

事業名
17 款 1 項 6 目
中央と畜場費会計繰出金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	2,301,905						2,301,905
執行見込額	2,338,436						2,338,436
今回補正額	36,531	0	0	0	0	0	36,531

**【事業概要】**

市場施設運営に必要な電気・水・ガスの調達及び施設の維持管理を行い、市場の効率的運用を図る。

**【補正概要】**

横浜市中心卸売市場食肉市場の光熱水費について、物価上昇に伴う経過措置として歳出予算を補正します。

◆補正要求概要

- ・対象施設 横浜市中心卸売市場食肉市場  
令和4年4月1日～令和5年3月31日までの電気料金及びガス料金
  
- ・電気料金：当初予算 ¥145,000,000 使用量6,800,000kwh×単価21.32  
 執行予定額 ¥270,407,000 使用量 [ ] kwh×単価 [ ] (平均)  
 補正額 ¥125,407,000  
 原料価格高騰分及び9月以降の最終保障供給の料金改定額を加算
  
- ・水道料金  
 上下水道：当初予算 ¥256,984,000 使用量255,134m<sup>3</sup>  
 執行予定額 ¥288,481,000 使用量286,602m<sup>3</sup>  
 補正額 ¥31,497,000  
 使用量の増による増額  
 工業用水：当初予算 ¥74,074,000 使用量136,476m<sup>3</sup>  
 執行予定額 ¥74,906,000 使用量137,966m<sup>3</sup>  
 補正額 ¥832,000  
 使用量の増による増額
  
- ・ガス料金：当初予算 ¥40,447,000 使用量530,435m<sup>3</sup>×単価 76.25  
 執行予定額 ¥57,330,000 使用量488,025m<sup>3</sup>×単価110.80 (平均)  
 補正額 ¥16,883,000  
 原料価格高騰分を加算

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
中央卸売市場費会計繰り出し金	2,301,905	36,531	2,338,436	物価上昇に伴う電気・ガス料金及びと畜頭数増加による水道使用量の増
		0	0	
合 計	2,301,905	36,531	2,338,436	

**【事業スケジュール】**

通年事業

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。